［国語の学習方法］

1　授業への取り組み方

①毎時間、提示される「学習課題」を意識して授業を受ける。
②授業で用いる学習用具を点検し、課題や提出物は、期限を守って確実に提出する。
③黙読の基本は音読にあり。音量５段階の「３」教室全体に聞こえる声量で音読や発表をおこなう。
　　音量５：グラウンド　４：体育館　３：教室　２：班での話し合い　１：ペア
④音読班による活動では、Ａ～Ｄでグループ音読の開始や司会、発表、記録などの役割を果たす。
⑤調べ学習やプレゼンテーション、スピーチなどに積極的に取り組み、自己を効果的に表現する力を養う。学習三原則「返事」「語尾までしっかり」を意識し、面接入試に各自備える。
⑥語彙力を身につけるため、日ごろから新出語句や難義語の意味を辞書で調べる習慣を身につける。

2　ノートの取り方

［記入例］

①右利きの人は左手でノートを押さえ
（左利きの人は右手でノートを押さえ）
て、両手を使ってノートを丁寧に書く。
利き手だけでノートを書くのではなく、
身体を姿勢よく保つ。
②学習課題や重要語句は色分けする。
後日見て内容がわかるように工夫する。
③1，2年生はB5版A罫が望ましい。
3年生はB5版B罫でも可。
④教師が板書しなくても、解説した内容
は、すばやくメモを取る。
⑤配布されたB5版ワークシートは授業
終了後、のりでノートに貼る。

短歌を味わう　　玉城　徹　　↑題材 作者名

〔学習課題〕近代短歌の基礎知識を整理する。　↑学習課題を必ず書く。

一、**短歌の形式**　五・七・五・七・七

○○○○○
○○○○○○○
○○○○○○○
上の句

○○○○○○○
○○○○○○○
○○○○○○○
下の句

合わせて「三十一音」（三十一文字）

①定型　②字余り　③字足らず　↑重要語句

二、**短歌のリズム**

①句切れ…歌の中での意味の切れ目　↑重要語句

例　わが夏を－あこがれのみが－駆け去れり－
　麦藁帽子－被りて眠る　寺山修二　答（三句切れ）

初句切れ－二句切れ－三句切れ－四句切れ－句切れなし
5　7　5　7　7

3　家庭学習の仕方

①自主学習ノートに重要語句を復習する。
②文法（文の成分、単語の識別、用言の活用、助詞・助動詞など）や古文・漢文などは必ず復習する。
③「単元別漢字」「重要漢字の復習」の漢字を自主学習ノートに繰り返し書いて覚える。
④可能であれば、自分で国語の問題集（長文読解、文法、漢字検定など）を用意して解く。

4　試験勉強の仕方

①テスト範囲一覧表をよく見て、テスト期間中の計画を立てて復習を行う。
②文学的文章、説明的文章、古文、漢文、詩歌、短歌、俳句などは特に音読に力を入れる。
③漢字（熟語、送り仮名、同音意義語など）、語句の意味、短文作りノートに書いて復習する。
④必ず文法に関する内容を出題するので、文法の既習内容を確実に覚える。
⑥ワーク、単元確認プリントの答えの部分を隠してもう一度、解いてみる。
⑦可能であれば、１，２年生は教科書準拠問題集、３年生は県立高校入試過去問題集などを用意して弱点の補充、克服に努める。わからない点は、そのままにせず、質問する。

5　その他

①書写（毛筆）の学習を始める２～３週間前に、準備物を知らせるので、点検し不足分は補充する。
②夏休みの出校日に、１～３年生に生活文や読書感想文などの課題あり。期限を守って提出する。
③冬休みの出校日に１、２年生に生活文や読書感想文などの課題あり。期限を守って提出する。
④漢字検定は年３回、学校行事予定表にある日程で実施する。受検者は、計画的に学習を行う。
　＊漢字検定：第１回８月23日（火）、第２回11月５日（土）、第３回h24年１月27日（金）
⑤夏休み、冬休みに「読書の記録」プリントに１冊以上本を読み、記録する。